

(笠間) 中学校 CAN-DO リスト 2年生

2年生学年末の目標

Listening	Reading	Spoken Interaction	Spoken Production	Writing
はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要をとらえることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。 (~350語程度)	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 (~60語程度)

領域	目標	単元	
Listening	はっきりと話されれば ア 機内放送、運行情報や要望、店内のアナウンスなど日常的な話題について必要な情報を捉えることができる。 イ インタビューなど日常的な話題について、その概要を捉えることができる。 ウ 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	Real Life English 1,5,6 Real Life English 3	
Reading	ア 日本や海外の生活習慣やマナーなど日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものを読み、必要な情報を捉えることができる。 イ 簡単な語句や文で書かれた物語、説明文を読んで、そのあらすじを捉えることができる。 ウ 人物の伝記など社会的な話題について簡単な語句や文で書かれた短い文章を読んで、その要点を捉えることができる。	Unit 4 Let's Read 1, 2 Let's Read 3	
Speaking	Spoken Interaction	ア 旅行の予定、自分の好みや要望など関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ 許可や依頼、生活習慣や学校生活など日常的な話題について、事実や自分の考えを伝え、気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ ロボットの用途や長所、ユニバーサルデザインなど社会的な話題に関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	Unit 1 Real Life English 7 Real Life English2 Unit 4,6 StageActivity2 Learning Technology in English Unit 5 StageActivity3
Speaking	Spoken Production	ア 自分が好きな日本食など関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 イ 自分が経験したこと、イチオシの料理など日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 ウ SDGs の目標、世界遺産、自分たちが住む町の省内など社会的な話題に関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	StageActivity1 Unit 0, 2 Learning Social Studies in English Unit 7 StageActivity3
Writing		ア 自分の将来像や夢など関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ 感謝の気持ちなど日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	Unit 3 Real Life English4

2年生 各単元との関連

PT = パフォーマンス・テスト

単元	学習到達目標	Listening	Reading	Speaking		Writing
				SI	SP	
0	□クラスメートのことをよりよく知るために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。				イ	
1	□旅行の予定を説明したり、相手に喜んでもらえるような休日のプランについて他者に伝えたりすることができる。			ア		
RLE1	□機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	ア				
2	□ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、イチオシの料理について、理由や考えと共に紹介することができる。				イ	
RLE2	□場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。			イ		
3	□自分の生き方について知ってもらうために、将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて書くことができる。					ア
RLE3	□インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。	イ				
Learning TECHNOLOGY in English	□ロボットが活躍する社会について考えるために、ロボットの用途や長所などをまとめ、考えを伝え合うことができる。			ウ		
SA1	□自分の好きな日本食に興味をもってもらうために、その食べ物の特徴や好きな理由を発表することができる。				ア	
PT1	□既習表現を用いて、状況や場面にふさわしい対話をすることができます。				イ	
LR1	□説明文を読み、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えることができる。		イ			
4	□日本や海外の生活習慣等の違いを知り共に暮らすヒントを考えるために、必要な情報を読み取ったり、考えを伝えたりすることができる。		ア	イ		
RLE4	□お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。					イ
5	□だれもが暮らしやすい社会について考えてもらうために、その方法や理由、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。			ウ		
RLE5	□店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができます。	ア				
Learning Social Studies in English	□持続可能な社会について考えるために、SDGsの目標について取り組んでいきたいことについて伝えることができる。				ウ	
6	□クラスの特徴を知るために、相手にインタビューし、わかったことをわかりやすくまとめて発表することができる。			イ		
RLE6	□状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができます。	ア		ア		
SA2	□自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら伝え合うことができる。			イ		
LR2	□場面や登場人物の心情の変化についての意見や考えを伝えるために、物語の概要を捉えることができる。		イ			
PT2	□既習表現を用いて、状況や場面にふさわしい対話をすることができます。				イ	
7	□世界遺産やジオパークについて深く知るために、興味のある世界遺産を調べ、考えたこと感じたこと、その理由などを話すことができる。				ウ	
RLE7	□自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。			ア		
SA3	□自分たちの町の将来について考え、自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。			ウ	ウ	
LR3	□人物の伝記を読み、時系列を整理しながら、要点を捉えることができる。		ウ			
PT3	□既習表現を用いて、状況や場面にふさわしい対話をすることができます。				イ	